（鳥羽市温泉振興会メールマガジン）

「海女の愛ちゃん鳥羽の温泉宿にダイブ！」

「海女の愛ちゃんが湯く！」　長月の巻

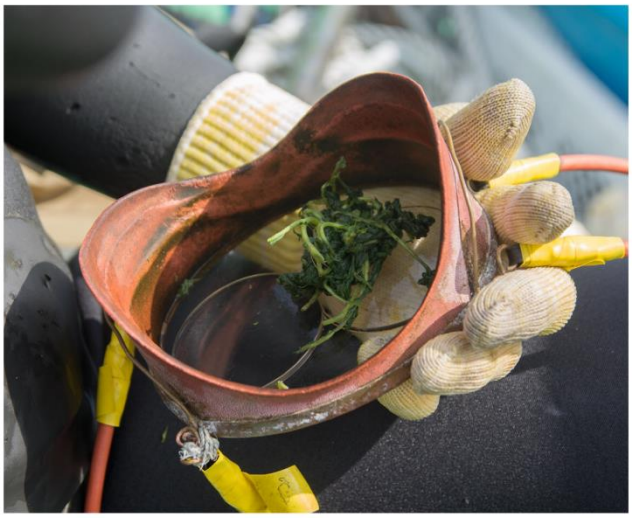
こんにちは！海女の愛ちゃんです。
今月は、特別企画「海女の愛ちゃんの海写真展」です！ タイトルを「海藻の海で海女の笑顔に包まれた６年！」としました。これまで SNS で海女漁等の情報発信を行い、時々写真展も開催してきましたが、また違う媒体で写真を見てもらえる機会を頂き大変有難いです。石鏡に移住してからの６年間で海女さん達と過ごした日常のスナップが主なものです。海女がどんな風に潜って、何を獲っているのか、そして、海女の風習などを少しでもお伝えできたらいいなと思います。

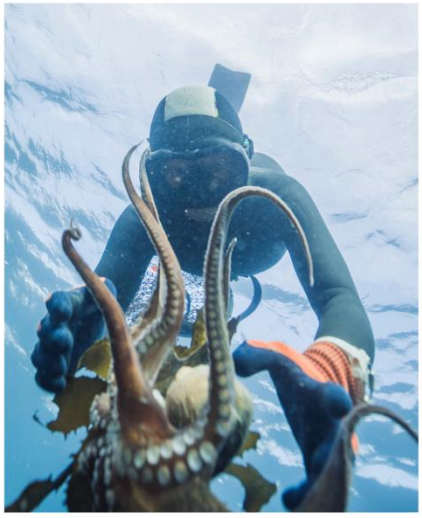
１番の見どころは海の中の写真です。鳥羽の海の中の様子をぜひ見て頂きたいです。海藻が少なくなってきているとはいえ、まだまだ豊富です。私は 20 歳の頃からスキューバダイビングをしていて、沖縄、伊豆、東京湾、三陸やオーストラリア、フィジー、グアムなどで潜ってきました。鳥羽の海に初めて潜った時には、海藻の多さに驚きました。こんな海を見たことがなかったです。海の中が森のようだと言っても過言ではないです。アワビやサザエなどの餌となる海藻が豊富だから海女が“日本一”多い町なんだなと、その関係性がいっぺんに腑に落ちました。

でもこの海藻が無くなると、海藻だけではなく魚介類もいなくなってしまうのです。漁師や海女にとっては、生業がなくなるという事です。志摩半島周辺では、海況の変化や温暖化による磯焼けの被害を受けて、海女を廃業せざるを得なかった方が現実にみえます。

決して他人事ではない不安を感じながら私は潜っています。頼もしくて優しくて笑顔が素敵なスーパーウーマン達から、いつも生きる知恵と元気をもらっています。こんな経験ができて本当にラッキーだと感じます。この宝物のような鳥羽の海と海女を守っていきたいと思っています。個人で出来ることは微々たるものですが、一人ひとりが生活の中で出来ることを実行していけば、やがて大きな力になると信じています。

それでは**「海藻の海で海女の笑顔に包まれた６年！」**どうぞご覧下さい。





AIKO OHNO PHOTOGRAPHY

AIKO OHNO PHOTOGRAPHY

AIKO OHNO PHOTOGRAPHY

◆レポーター大野愛子
　東京都出身海女、フォトグラファー
9 月 10 日に夏の漁期が事故もなく無事に終了しました。ほっとしています。しばし休業期間になりますが、また 10 月からは冬の漁がスタートします。

◆お知らせ
　私からのお知らせがあります。去年私が少し出演したテレビ番組「しまじろうのわお！」の、海の保全をテーマにした「Our Oceans（私たちの海）」の回が、国際アワードで最優秀賞を受賞しました。
　コロナ禍でしたので、全て自撮りで撮影しました。1 人カメラに向かって喋るのは、向いてないことが分かりました。知っている方達からは、顔が固いとか真面目過ぎると私に関しての不評はもらっていますが(笑)、内容は本当に素晴らしいです。
　株式会社ベネッセコーポレーションによると、初開催の昨年の授賞式のストリーミング配信は約 34 万人が視聴し、アジアや映像業界を中心に注目を集めています。今回の賞はアジア各国からのエントリーの中から、70 人以上の専門家の審査をくぐり抜けた、特に優れた番組に贈られるものだそうです。
受賞を記念して 10 月末まで YouTube で公開されていますので、是非ご覧下さい。
https://www.youtube.com/watch?v=DS6FeIzSQNc

◆編集後記
　整理していた写真の全ての場面が記憶に残っています。引退した海女さんや亡くなった海女さんの姿を見て、とても懐かしくなりました。色々な思い出がありますね。
今回、写真にはキャプションがないので、これは何？とか質問があればお答えしますので連絡ください。

　次回は鳥羽ビューホテル花真珠さんです。お楽しみに～。